

# 行政視察報告書

令和 3年10月25日

会派名 無会派  
会派代表者 尾関 昭

(参加者： 尾関 昭 )  
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 3年10月16日 ( 土 )
視察時間	10:30~12:00
視察先	富山県空港スポーツ緑地 (指定管理者：株式会社 野上緑化)
視察項目	富山県空港スポーツ緑地の管理運営について

②

年月日	令和 年 月 日 ( )
視察時間	
視察先	
視察項目	

③

年月日	令和 年 月 日 ( )
視察時間	
視察先	
視察項目	

# 行政視察報告書

①

年月日	令和 3年10月16日 ( 土 )
視察時間	10:30~12:00
視察先	富山県空港スポーツ緑地 (指定管理者: 株式会社 野上緑化)
視察項目	富山県空港スポーツ緑地の管理運営について
<b>■目的</b> 公共施設の運営方法のひとつに指定管理者制度があるが、その運営と取組で独自の施策を展開し、また提案・創出し、様々なイベントを通じて多くの利用者へ還元することが出来ている指定管理者 (民間企業) より、当市でも今後利活用が出来るきっかけづくりを見出すために調査研究を行うこととした。	
<b>■内容</b> 平成18年度より8ヶ所ある県立都市公園すべてに指定管理者制度が導入された。そのうち3ヶ所が民間企業による指定管理者制度を用いた運営を行っている。 <ul style="list-style-type: none"><li>・富山県岩瀬スポーツ公園</li><li>・県庁前公園</li><li>・富山県空港スポーツ緑地 (今回の視察地、株野上緑化)</li></ul> 指定管理者の選定方法は、プロポーザル方式によるもの。  1. 施設概要 所在地、面積: 富山市秋ヶ島 13.2ha 主要施設: 陸上競技場、テニスコート、芝生広場、展望広場、ゲートボール場 遊具広場ほか 設置目的: 富山空港の騒音緩衝としての緑地帯、ならびに県民のスポーツやレクリエーション活用の場の提供  2. 毎年度終了後、県による指定管理者の評価 指定管理者が提出した定期報告や利用者アンケート・実地調査などに基づきモニタリング評価を行い、県のホームページにて掲載。 〈評価項目〉 <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者数・収入の増減に対する評価</li><li>・サービス向上に向けた取組</li><li>・利用促進 (収入増) に向けた取組</li><li>・利用者ニーズの把握や苦情処理の取組</li><li>・個人情報保護の取組</li></ul>	

- ・ 関連団体との連携
  - ・ 施設設備の維持管理
  - ・ 危機管理、安全管理などの取組
- ＋ 指定期間の中間年に『第三者評価』を実施

### 3. 運営状況

- ・ 平成 21 年度より(株)野上緑化が指定管理を担当
- ・ 5 つの基本方針を基に活動
  - ①安心安全な空間・豊かな自然環境を提供するエリアマネジメント
  - ②地域・団体等を巻き込んだ協働・参加型の公園づくり
  - ③健康増進・スポーツ普及を目指すヘルシーパーク
  - ④地域全体の賑わい・活性化による地域づくり
  - ⑤子育て・教育・雇用・エイジレス社会を応援するパークライフ

### 4. 新たな試み

- ・ 障がい者支援事業所、放課後等デイサービス、高等支援学校との連携、活動の参画、就労支援の場の提供・受け入れ、イベントの協力依頼など相互作用による協働に努めている。
- ・ 公園管理（除草・清掃）などは、シルバー人材センターへ依頼はゼロ（コスト高）障がい者施設より週 2 回の落ち葉清掃、草取りなどを実施して頂いている。
- ・ 障がい者支援事業所より、正社員としての登用を行って、更により良い信頼関係を構築出来るように努めている。（計 2 名の社員化の実績）
- ・ 適切な管理下で、一企業として経費削減に努め、年度毎に指定管理料の額を下方修正出来るように事業を進めている。（指定管理料を年々下げ続け、現時点では年額 3,600 万円程度にまで削減した。）
- ・ 令和 2 年 6 月に全く利用されていないゲートボール場の利活用とともにインクルーシブ公園（遊具）とする提案書を県に提出。本年度、実証実験への県予算を確保し実施中。（サンドボックス枠事業、520 万円） 今回のアンケート結果をもって、次年度以降の整備に繋げていく。（内定済み）

### ■所感

本施設における現在の指定管理者である民間企業（株）野上緑化は、以前より県道などにある植栽等の維持管理を行っていた企業であったが、当施設の指定管理者の応募により現在に至る。料金徴収して運営に当たる各種スポーツ施設の維持管理のほか、活動の中には各種福祉事業所との綿密な連携・地域協働により、航空機騒音の緩衝帯である緑地帯の整備と保守管理を行い、障がい者の働き場所の確保に対して一役を担っている。

その他、民間企業らしい発想やアイデアを県へ複数提案し、その中でも指定管理料の軽減に貢献する事案や、積極的な障がい者雇用、新たな公園遊具の導入による新しいコンセプトを併せ持つ公園づくりの提案など、先駆的な諸活動は既存の指定管理者においても参考になる事ばかりであり、有益な情報共有の場となった。